

「摩擦を恐れない」 スティーブ・ジョブズ アップル創業者

日本の膳や和食好きとも知られ、使いやすいパソコンやスマホを提供したいと常に考えていたアップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏。

創業時はWindowsに対抗するようにマッキントッシュというパソコンの開発に力を入れていました。

そんな時、

「パソコンの起動時間を10秒早くしてほしい！」

とパソコンを開発するエンジニア達に言いますが、エンジニアはなかなか頭を縦にふってくれません。

そこでジョブズ氏は、

「仮に起動時間を10秒短くするだけで人の命が救えるなら、そうするか？」

と的外れ？的な質問をエンジニアに問いかけます。

そして続けて

「世界中でマックのパソコンを使う人が500万人いた場合、1日10秒余計な時間がかかると年間3億時間ほどの違いになる。」

「言いかえれば、1年間で100人以上の人生に相当する時間を節約できるんだ！」

と説得しました。



1日10秒×500万人＝5000万秒。 1時間＝3600秒。50000000÷3600＝13888時間

13888時間÷24時間＝578日。 計算合わないです。ジョブズさん。。。

仮にパソコンを1日1回電源を入れて、その10秒が1年間使い続けたとした場合。

578×365日＝210年。 人生70年だとしたら3人分で100人分にはなりません。

マックのパソコンは上等だから5年使えたとしても、15人分の寿命。

100人分は言い過ぎです！ジョブズさん。



初期のMAC
wikipediaより

という突っ込みがなかったのか？不思議ですが・・・

刺激を受けたエンジニアは、数週間後に28秒も短縮させました。

なにはともあれ、より良いものを生み出すためには、意見を言い、戦うことから逃げない。

摩擦を恐れないことが大切な要素と言えそうです。

きじポ～新聞38号、39号の中で書いたコミにケーシヨンの技法のひとつアサーションでも自己主張が大切な要素でした。

アサーションをする上で大切なこと

・人それぞれ立場、意見、気持ちは違い、それぞれの欲求がある。

・人は不完全であること、違いがあることを理解する。

そして、相手の意見や気持ちを確認、違いがあっても尊重し、お互いの意見を素直に表現しあうことが大切でした。

日本人は、争うことは良くないという教育を受けているので、なかなか言い争うことは難しいかもしれませんが、よいものを創り出すうえで自己主張は必要そうです。

参考図書：人生はニヤンとかなる。 文響社